



先進的な取り組み，後継者の育成に貢献しています

指導農業士 有限会社 マルセソファーム 千葉 卓也 氏 (大崎市鹿島台)

千葉氏は園芸施設において、トマト 1.6ha、きく類 1.11ha、ほうれんそう 40a のほか水稲 33ha を経営しています。

有限会社マルセソファームの名前の由来は、「マル」は人の輪，人の和，笑顔。「セン」は鮮：新鮮な農産物をお届けする，選：選りすぐりの商品を届ける。選ばれる，先：農業を先端産業にする，機先を制す。千：は先祖代々続いた千葉姓をコンセプトとして「マルセソファーム」と命名しました。

栽培面では安心しておいしく食べられる野菜づくりにこだわり，できるだけ使用する農薬を減らすとともに，健全な作物を育てるためには健康な土で育てることが不可欠との考えから，自家製堆肥と必要に応じた有機肥料で土づくりをしています。JGAP 認証を平成 30 年 1 月に取得し，研修生の受け入れについては国外，国内，農業改良普及指導員や農業大学の学生等を受け入れています。

販売額第 1 位のトマトはデリシャストマト(玉光デリシャス)と中玉トマト(フルティカ)の高糖度栽培管理したものです。高糖度トマトは生食用以外にもプレミアムトマトジュース等の加工(委託) 販売もしています。